

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		部課コード		051400	2998-5911			
事業コード	並木公民館主催事業			並木まちづくりセンター				
051403	開始年度 昭和 58 年度			終了年度	年度			
担当部課		グループ コミュニティ推進・公民館グループ						
事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	第4次所沢生涯学習推進計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則			
	関連・類似事業	文化活動支援事業(社会教育課)、家庭教育推進事業(社会教育課)						
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 社会教育	基本方針	公民館機能の充実			
事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においてはその設置目的達成のための教育・学術・文化に関する各種事業を行うこととされている。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	市民の学習要求に基づき各種学習、講座を展開し、市民の学習意欲の向上を図るとともに社会教育の推進と住民自治の醸成を図る。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	24,333 人			
	主に並木地区住民			平成 27 年度	24,118 人			
事業の具体的な内容及び実施方法								
1 生活課題、地域課題、生活を豊かにする学習等の系統だった学習内容、方法等について職員による企画立案、あるいは市民を交えた企画準備委員会、実行委員会等を設置し、事業内容を検討、生涯学習情報紙及び公民館だよりを発行して参加者を募集し学習する。 2 事業終了後は、学習記録や参加者の意見・感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			780	4,562	5,128		
	決算(見込み含む)			734	4,645			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人)	(2.00 人)	(人)	(2.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	1.25 人	10,901	1.25 人	10,825			
	事業費合計		11,635		15,470			
	財源内訳	一般財源	11,635	15,470	5,128			
	国・県支出金							
	その他()							
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	年間事業数	年間事業数	件	18	14	15	20
		講座終了後のアンケート回答数	年間回答者数	人	255	247	200	250
		アンケート結果の分析	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	件	233	239	190	250
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	上記アンケートで「ある程度満足及び満足」回答した割合	%	目標値	98	99	99	100
				実績	91	97	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」 拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」 縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	93	98	どちらかを チェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	・参加状況や意見を基に講座の廃止、新規開講などの見直しを行った。 ・前年度のアンケートを基に講座内容の見直しを行った。			受講してみないと講座の水準がわからないため、受講者と講座内容のレベルの差を予め把握することが困難である。				
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	地域住民の要望を維持しながら、年間事業計画に基づき実施するとともに、継続的改善・効率化を図っていく。			
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	現状の予算の範囲内で可能な限り事業を実施していく。			
価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	乳幼児・子どもたちを対象とした事業については、併設されているさくら児童館と調整・連携を図りながら実施している。			今後も並木公民館事業企画運営委員会と連携を図っていくとともに、公共施設との連携した事業やサークル団体・地域ボランティアの協力により実施していく。				
評価日	H28.8.10	評価者職氏名	並木まちづくりセンター長 阿部 美和子					
環境影響	有益な環境影響	6-2環境教育・環境学習の充実		有害な環境影響を及ぼす原因活動	講座資料等の作成配布	規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	無	